

広島赤十字・原爆病院 がん地域連携パス指針【肺がん手術後 Stage I A 地域連携パス】

当院では、がん地域連携パスを次のように運用させていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

1.対象患者

肺がん Stage I A
上記疾患で、肺がん手術後

2.パス導入時の連絡

がん地域連携パスの適応があり、患者の同意が得られれば、主治医またはパス担当者より貴院へ電話にて連携の依頼をさせていただきます。

3.当院(がん診療連携拠点病院)での診察

- ①臨床症状(全身倦怠感、食欲低下、体重減少、痛み、咳、息苦しさ)の確認
- ②血液検査(末梢血一般、生化学)の施行
- ③腫瘍マーカー(腺がん:CEA、SLX/扁平上皮がん:CEA、シフラ、SCC)の施行
- ④画像検査(胸部X線検査、胸腹部CT)
- ⑤患者の症状により、脳MRI、骨シンチ、PET-CT検査
- ⑥喀痰細胞診

4.かかりつけ医の先生にお願いする診療

- ①臨床症状(全身倦怠感、食欲低下、体重減少、痛み、咳、息苦しさ)の確認
- ②患者の症状等により、血液検査(末梢血一般、生化学)の施行
- ③患者の症状等により、腫瘍マーカー(腺がん:CEA、SLX/扁平上皮がん:CEA、シフラ、SCC)の施行
- ④患者の症状等により、胸部X線検査を実施

※診療情報を当院に文書(診療情報提供書)で提供いただいた場合は、月1回を限度として『がん治療連携指導料300点』を算定することができます。

5.パスの期間

治療後5年間

6.バリエーション

- ①肺がんの再発や転移の疑いがある
- ②他疾患による病状悪化
- ③患者の事情による定期受診困難
- ④死亡

2021年4月作成

広島赤十字・原爆病院
がん相談支援センター
TEL 082-241-3111(内線 3214)